

## 令和3年度実施「いきいき協働事業」相互検証評価シート

事業名	樹林に対する新たな魅力の創出と保護意識の啓発事業(いきいき協働事業)
団体名	NPO法人東京ネイチャーランド
担当課名	環境部 水と緑と公園課

**1 目的の共有**（事業の目的をお互いに理解し、共有しながら事業を進めたか）

団体自己評価 :1	担当課自己評価 : 1
「小平市の管理する公園や緑地の樹林の維持のため、ツリークライミング体験会を通じて、新たな魅力の創出と市民の保護意識の向上、生物多様性への理解を深めること」という事業目的を掲げ、共有しながら計画、実施しました。	

**②自主・自立の尊重**（双方の団体としての独立を尊重し、過度に依存することなく事業を進めたか）

団体自己評価 :1	担当課自己評価 : 1
・事業の計画・運営については、団体の自主性を尊重していただき、実施場所や時期などを適切に決め、事業を円滑に進めることが出来ました。	

**③相互理解**（互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方を理解し、柔軟な対応が図られたか）

団体自己評価 :1	担当課自己評価 : 1
・団体の専門的な技術と知識を知っていただき、尊重していただいたことで、場所の設定や日時を適切に判断することができました。また、コロナ禍における開催となり、対策についても相談しながら適切な対応が出来ました。	

**④対等関係**（互いの事業活動における対等な立場を踏まえ、事業を進める様々な場面において、適切な協議、意見交換等の機会を設け一方的に決めることなく十分に話し合ったか）

団体自己評価 :1	担当課自己評価 : 1
・コロナ対策を含め、事前準備、実施日、終了後と、報告・連絡・相談を随時行い、意見交換ができました。	

**⑤情報の共有**（相手方と十分な情報の共有ができたか）

団体自己評価 :1	担当課自己評価 : 1
・相談や確認事項など、その都度メール又は電話連絡により情報共有が図れました。	

**⑥役割分担と責任の明確化**（事業実施にあたって役割分担が明確に定められていたか）

団体自己評価 :1	担当課自己評価 : 1
・募集については、担当課が主となり市報に掲載し、質問など窓口として対応し、募集情報の管理については、グループフォームを使用し、団体が管理することにより、役割分担が明確に区別できました。	

**⑦協働事業の相乗効果**（市が単独で実施するより効果的・効率的な事業展開ができたか）

団体自己評価 :1	担当課自己評価 : 1
・団体が持つ専門技術や知識と、市の広報力との協働により、効率的に事業を行う事ができました。	

**⑧目標の達成**（事業の目的が達成できたか）

団体自己評価 :1	担当課自己評価 : 1
・体験者が体験会終了時に樹木に触りながら挨拶をし、樹木について保護者と話をしていることが確認でき、新たな魅力の創出と市民の保護意識の向上が達成できたと思います。	

**⑨地域の課題解決**（事業を通じて地域の課題解決につながったか）

団体自己評価 :1	担当課自己評価 : 1
・公園内には多くの枯れ枝が存在します。これら危険箇所を自ら把握することで、安全に対する意識が向上を図れました。	

**⑩その他意見**（提案団体から）

<p>体験希望者が多く、回数を増やした方が良いと感じました。また、継続して体験会を行い、子供との対話を通じて保護意識の向上が図れているかを確認したいと感じています。今後もツリークライミング体験会が継続して行えることを望みます。</p>	
---	--

## ※自己評価項目

1	十分達成できた
2	達成できた
3	概ね達成できた
4	目標を下回った
5	達成できなかった